

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	高知県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	土佐市立波介小学校								
学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	1	1	1	1	1		6	10
児童数	16	13	18	16	17	17		97	

研究の概要

1. 研究主題

「心が和むコミュニケーション能力の育成」
 ~学習広場に聴き合い、柔らかい声で響き合う関わりを築く~

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

国語・算数を中心として、特に支援が必要な児童が全学年にいるため、次のような研究内容に取り組んだ。

全学年 こもだステップアップ学習(各教科・総合・学び方スキル等)

全学年 チャレンジ(国語・算数)

全学年 レッツすすむ算(算数)

は、主に、基礎学力の定着や向上を図るため。

全学年 学習参加・参画(全教科・総合・道徳等)

授業改善を図り、児童の主体的な学習態度や自己責任の自覚を促し、温かい人間関係を育てるため。

全学年 日々の授業をT・Tで(国語、算数)

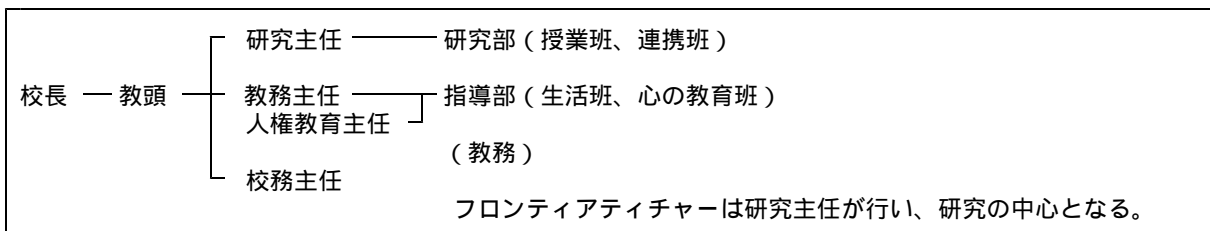
児童の理解の状況に差が出やすい教科であるため。

(2) 年次ごとの計画

平成 15 年度	<p>テーマ 個に応じた学習による、基礎学力の定着と向上</p> <p>研究の見通し <課題克服のための研究目的> 個に応じた指導方法や指導体制の工夫改善 学力評価を生かした指導の改善 発展または、補充的学習用の教材開発 主に、今年度は に重点を置く。</p> <p>研究の内容・方法 ・チャレンジタイム(つまずきクリアーのための少人数指導、習熟度別学習等) 各学年、週1時間、2~3コースに分かれ実施 ・レッツすすむ算(自己選択集中学習) 学年の枠を外し、5コースに分かれ実施 ・日々の授業(T・Tで) 児童の実態や児童の理解状況に差が出やすい教科(算数・国語)や単元をT・Tで実施)</p>
----------------	---

平成 16 年度	<p>テーマ 学力評価に基づいた、個に応じた支援・指導のあり方と家庭学習の定着</p> <p>研究の見通し 上記、研究目的を踏まえ、平成16年度は に重点を置く。また、子どもが一人で勉強をする態度の育成や家庭学習の習慣化の研究も行っていきたい。</p> <p>研究の内容・方法 ・CRTの結果を踏まえた、個に応じた学習(個人カルテ等の有効活用) ・「チャレンジタイム」「レッツすすむ算」等の教材開発 ・本校の児童の実態に合った、家庭学習の研究</p>
----------------	--

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

- 基礎学力の向上と学習意欲の向上が見えた。
- ・こもだステップアップ学習 (同じ学習内容を、2週間続けて取り組む繰り返し学習)
本校の「基礎学力の手引き」等の内容が定着できた。学習結果が数値の向上として出てくるので、児童も意欲的に取り組めた。
 - ・チャレンジタイム (少人数指導、習熟度別学習等)
CRTの結果等を踏まえた、つまずきクリアーの時間となった。児童も分からないことが分かるようになるので意欲的であった。
 - ・レッツすすむ算 (自己選択学習)
複数教師・地域の方々で子どもたちにあたっていくので、子どもの学びを保障していくことができた。児童も自己選択なので意欲的であった。自作教材ができた。
 - ・こもだ学習参加・参画
様々な人との出会いつながりをもつことができ、その中で、心が和むコミュニケーションもできはじめている。(また、少しずつではあるが、「学びの地域ぐるみ共同体」に近づいてきている。)年間40回実施
 - ・日々の授業 (T・Tで)
きめ細かな指導・支援・評価が行えた。

2. 今後の課題

- 学力評価を生かした指導の改善・・・子どもひとり一人の課題や進歩を見極めた、個に応じた学習の追求
家庭学習の定着・・・本校の児童の実態に合った、家庭学習の研究
教材開発・・・「レッツすすむ算」や「チャレンジタイム」では、より良い教材を創っていく。

学力等把握のための学校としての取組

- 教研式標準学力検査 (CRT)
- ・目的 児童の学習状況を把握し、指導の在り方を工夫改善する。
 - ・実施内容 2学期までの内容
 - ・時期 H16.2.5~6

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・研究会の開催
日時 H15.10.10 (金) 場所 波介小学校
対象 PTA、地域の方々、教職員 目的 研究成果の普及
- ・講演会の開催
日時 H16.3.8 (月) 場所 波介小学校
対象 土佐市内教員 目的 基礎学力の定着と効果的な指導方法
- ・本校の取り組み等が分かるリーフレットの作成

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 6学級以下 7~12学級
 13~18学級 19~24学級
 25学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T・Tによる指導
 一部教科担任制 その他
- 【研究教科】 国語 社会 算数 理科
 生活 音楽 図画工作 家庭
 体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無